

会 議 録

1 会議名

令和7年度第9回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

（1）上越市過疎地域持続的発展計画（案）に係る答申に対する通知について

○自主的審議事項（公開）

（1）自主的審議事項について

○その他（公開）

（1）次回開催日時

（2）市からの連絡事項（区内の行事予定ほか）

3 開催日時

令和8年1月27日（火）午後6時00分から午後6時36分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：秋山委員、池田（正）委員、池田（康）委員、和泉委員、新保副会長、松野委員、山岸委員、横尾委員、吉野会長
- ・事務局：安塚区総合事務所 今井所長、井部次長、野口市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、保高地域振興班長、本山会計年度任用職員

8 発言の内容（要旨）

【吉野会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・岩崎委員、滝沢委員、中村委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告

本日の会議録は、内規により私に対応する。

それでは、議事に移る。

次第2：報告事項「(1) 上越市過疎地域持続的発展計画（案）に係る答申に対する通知について」

示された通知文を、事務局から読み上げていただく。

【保高班長】

（資料No.1により説明。）

なお、この通知文は市が方針決定した内容の通知であって、この文面に対する再答申など、意見をやりとりする手続きは用意されていないので、今回はこの内容でご了解いただきたい。

【吉野会長】

今の説明に対して、質問等はあるか。

（特になし）

質問がないので「(1) 上越市過疎地域持続的発展計画（案）に係る答申に対する通知について」の報告は、これで終了する。

次に、次第3：自主的審議事項「(1) 自主的審議事項について」議事を進める。

このことについて、私から提案する。

安塚区地域協議会では、旧安塚中学校の利活用を自主的審議事項のテーマに検討を進めてきたが、資産活用課による公募型プロポーザルによる利活用事業者の募集が行われていることから、その結果待ちとなっていて、検討は一時休止している。ただ、あと2年間、このまま何もしないでいるのもいかがかと考え、改めて新しい課題を出したらどうかと思っている。

実は、令和6年5月に第6期地域協議会が発足した時、前の期の地域協議会でなかなか議論が進まなかったこともあって、活性化の方向性という見出しで検討課題の引継ぎを受けている。そのことについては、令和6年度第1回地域協議会で皆さんに話をし、了解を得ている。この際、この引継事項についてもう一度、皆さんで自主的審議事項の一つとして考えてみたらどうかと思っている。

ただ、皆さんから自主的審議でこれを取り上げてほしいという提案があるなら、それも大事なことから取り上げることは可能である。その内容よりもこっちがいいよとい

う提案があれば、皆さんから次回までにまとめてきていただいて、意見を聞きたい。

【秋山委員】

引継事項のリバーサイドロードのことについて、ここでまた話し合いを始めたいということか。

【吉野会長】

そうではなくて、もう一枚の資料の「安塚区における『地域活性化の方向性』」ということで引き継いだ中に、リバーサイドロードの活用の項目がある。

【秋山委員】

ここにもリバーサイドロードのことが書いているが、私は毎朝、リバーサイドロードをジョギングしていて、春には非常に美しい桜の中をジョギングできるので、常々、これを生かして何かできないかと考えている。

案のひとつとして、マラソンである。

1日限りのイベントだが、例えば、柿崎では米山山麓ロードレース、妙高市ではコシヒカリマラソンなどが行われていて、大勢の人が集まってくる。健康志向なのか、段々と参加者が増えている。リバーサイドロードを利用して、マラソン大会を計画してもよいのかなと、常々、考えている。皆さんのご意見をいただきたい。

【吉野会長】

そのことについては、まず、全体において「安塚区における『地域活性化の方向性』」ということで、安塚区の魅力あふれる自然と景観をいかし、ふれあいのあるまちづくりを進め、住みやすい地域を目指すという大目標を立てて、その中の構成要素としてリバーサイドロードのことだとか雪だるま高原のことだとかが挙げられているので、それを個別、具体的に話し合うことは可能である。

ロードレースなどをやるなら、体協などが事業主体になって進めてもらわなければならないから、我々は案出ししかできない。

【秋山委員】

それでよいと思う。

安塚区の自然としてリバーサイドロードばかりでなく、石橋のブナ林の中も桜の季節とマッチするし、非常に鮮やかな若葉の中を走るルートを作って、案として出してもよいかと思う。

【吉野会長】

具体的に個別のものを積み重ねて構成していったら、住みやすい安塚を目指す。つまり持続可能な安塚を目指していくことだと思っているので、そのような形で進めてはどうか。

【秋山委員】

住みやすい安塚以前に、まず安塚を知ってもらうことが大事なのではないかと思うので、人が集まるものを企画するのがよい。

桜の季節になると、昔に比べて桜を見に来る人が増えた。車で来て、お茶を飲んだり花を見たりする人が結構いる。それを知ってもらうことによって、どんどん人が来てくれるということだと思ふ。

まず、住みやすい安塚を作るためには安塚を知ってもらうことが重要かと思うので、その一端としてマラソン大会の案を考えていただければと思う。

【吉野会長】

そのことについて、如何に安塚を発展させていくかは重要な構成要素になっていくかと思う。

【和泉委員】

確認だが、安塚区の活性化に向けてということでここに指針が書かれているが、これはどのように決めたのか。

【吉野会長】

これは、全戸の中学生以上の皆さんにアンケート調査を行い、その結果を基に中学生、高校生、更には商業の方などと対話の機会をもって、その中で出てきた意見などを基に決めた。

【新保副会長】

かなり回数を重ねた。

【和泉委員】

それなら、これが安塚区の皆さんの声だということか。

この構成要素は、具体的にはまだこれから検討するのか。これが土台にあって、それに対してどうしていこうかというのは、これから検討するということか。

【池田（康）委員】

これからなどと言っていると、安塚はなくなってしまう。

【和泉委員】

私たちが形、目標を作っておけば、私たちが委員を代わったとしても、次の委員の人

たちに目標が残っているので、それに向かっていろいろな自主的審議事項をやっていけばよい話である。その核心、柱を作っておけばよい。残り2年もあるのだから。

【吉野会長】

わたしもそう思って、提案させていただいた。

いずれにしても、今のまま進めば2年後に地域自治プロジェクトで地域ビジョンを作りなさいと義務化されることと思う。我々の能力では総合計画のように細かくは作れないので、まずは困っていることから一つずつ直して、全体の人口は減っていくけれど、みんながそこに住んで、持続可能な地域になるようにしたい。

そうしていくと、どこかで切り捨てなければならないものも出てくる。そのようなところから話し合いを始めていけばよいかと思っているので、このコンセプトを大事にして考えてみたらどうかと、私は提案するつもりでいた。

また、引継いだのだから、手を付けないでおくのもどうかと思い、話をした。それが2年後のビジョンづくりの土台になれば、また引き継いでいけばよいと思っている。

その中で、秋山さんが言われたような、発信を高めて人から知ってもらう、そのためにマラソンなどのイベントもありますよとか、そのような提案は個別に出てくるものであろうから、それを上手に構成して、やっていけばよいかと思っている。

【池田（正）委員】

ヤナギバひまわりなどの取組をやってきたが、だんだん人口が減ってきて、持続可能などなかなか有り得ない。2年後にさあどうしましょうと言っても、実現できる目標など立てられないと思う。

【吉野会長】

私たちは年齢構成から見ても、観客にはなれてもプレーヤーとしてはやれないというところまで来ている。そのようなことも考えて、じゃあ本当にそこまでやるには、それでも続けていくには、キューピットバレイ1か所に絞って検討するとか、いろんな案が出てくると思う。切り捨てるところは切り捨てていかなければならない。そうしないとやっていけない。

【池田（正）委員】

この「地域活性化の方向性」は素晴らしいと思うが、簡単にはいかない。

【秋山委員】

確かにそうだ。

例えば今、簡単にマラソン大会と言ったが、非常に手間がかかる。給水所やスタッフ、コースの下見や案内など、いろいろなものが必要となる。100キロマラソンなどは安塚もコースになっているので分かると思うが、サポートする人はものすごく大変だ。

あの桜の下を走っていると、気分がすごくハイになる。無風状態で散った時には、真っ白で雪が降ったようになる。私は昔、トライアスロンや自転車もやっていたので、そこを走るとタイヤの跡がずっと付く。これだけ長い桜並木はそうそうない。それをみんなに知ってほしいという思いがある。難しいのは分かっている。

【吉野会長】

難しいと言って、諦めるのはよくない。

例えば前にスキー場で計画して、何回か山麓でマラソンを開いたことがある。今、コンバインドのナショナルチームのコーチをやっている選手などを呼んできて、走らせたこともあった。或いは以前に、キューピットバレイでクロスカントリースキーの大会を10回くらい開いたことがあった。

やるとなれば、いろいろな大会もできるが難しい。スポンサーが見つからないとなかなかできない。そういう個別、具体的な点で、NPOさんが事業主体になってやってくれるのかとか、そういうのも探しながらやっていけばよいかと思っている。そのために、まず、ここにあるコンセプトを皆さんで共有して、その中で活性化の方向性を見出していったらよいと思うがどうか。

【松野委員】

それはあるかと思う。

ただ、ここで今、リバーサイドロードだけに拘るのではなく、構成要素に書いてある「地域全体での支え合いによるまちづくりの推進」とか「地域のリーダーや次世代を担う人材の育成」、この辺りをきちんと考えられないか。持続可能な地域づくりを目指すなど、確かに言うことはすごく格好いいけれど、これをとことん突き詰めていくと、いろんな問題があると思う。

すべてが観光ではない。ここに住む人たちが住みやすい地域にしていくことを考えていくと、いろいろ出てくるだろうと思う。というのは、区内でもいろいろなイベントが行われているが、地域の人たちがどれだけ参加しているのかというところを考えていかなければならない。これから「地域活性化の方向性」ということで議論されていくので、そのようなところも考えていかなければならない。

【吉野会長】

松野委員がおっしゃるとおり、何か具体的なものを行おうとすると、区内の高齢化率が50%超であるために、地域の者だけではなかなか支えられない。じゃあ、関係人口をどうやって増やしていくとか、交流人口を増やすとか、そういった道順も作ってはどうかと思って、私はそういうつもりで提案した。ここに掲載されているのは、前の委員たちが一生懸命に、大変な努力をして作り上げたものであるから、引き継ぎましようということになっている。このまま放り投げておく訳にはいかないため、提案させていただいた。

個別、具体的なものも出てくるであろうが、まず、その辺りから少し、みんなで住みやすい安塚にするにはどうしたら良いかという気持ちを共有することから始めたらよいと思っている。他に自主的審議事項として取り上げてほしいものがあれば、次回の協議会までに連絡してほしい。

とにかく、これを引き継いでやっていこうということと、他の自主的審議事項について次回の地域協議会で決めたいため、宿題にさせていただきたい。

【新保副会長】

交流人口を増やすことももちろん大切だが、交流人口を増やすにはまず、ここに住んでいる人が住みやすい実感を持たなければならない。これが一番大切だと思う。

だから、前回の地域協議会でも議論したが、地域協議会の考えにプラスして地域の代表である町内会長の考えとか、地域の実情とか、そういう声を聴いてそれに対してまた考えていくということも必要なのではないか。

【吉野会長】

細かい、テクニカルな部分はたくさんあると思うが、まずは引継ぎ事項があったのだから、これを放置しておくのはいかがなものかと思い、私から提案させてもらった。他に皆さんから良い話があれば、次回の協議会で聞いて決定させていただきたい。

この案件についてはよろしいか。

(一同、了承)

この協議はこれで終了する。

次に次第4：その他に移る。

(1) 次回の地域協議会の開催日を確認する。

定例の第4火曜日は2月24日である。ご都合はいかがか。

(一同、了承)

それでは、次回の地域協議会は2月24日(火)の18時から開催する。

次に、(2)市からの連絡事項を事務局から願います。

【井部次長】

今後の行事等の予定をお知らせする。

今月30日(金)、上越市議会令和8年第1回臨時会が開催される。主に令和7年度の補正予算が審議される。

続いて、明日28日(水)から2月7日(土)まで衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票が行われる。なお、国民審査については2月1日(日)からできる。当区では2月2日(月)から7日(土)まで、総合事務所に期日前投票所を開設する。投票時間は午前8時30分から午後7時までとなっている。

続いて、2月8日(日)は衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査の投票日となる。区内では安塚小学校など7つの投票所で投票が行われ、閉鎖時刻は市内すべての投票所で1時間繰り上げとなるため、安塚区の投票時間は午前7時から午後5時までとなる。お間違えのないように、願いたい。

続いて、2月16日(月)から3月16日(月)までの土日祝日を除く毎日、令和8年度の市民税・県民税の申告相談と受付を行う。区内の会場は総合事務所となる。受付時間は、午前は9時から11時まで、午後は1時30分から3時30分までとなっている。

続いて、2月28日(土)に「第15回灯の回廊安塚キャンドルロード」が開催される。同日、地域独自の予算事業である「山のうへの雪まつり」がキューピットバレイスキー場で開催される。皆さんからもお越しいただきたい。

最後に、3月14日(土)に第15回レルヒカップスキー&スノーボード大会が2年ぶりに開催される予定であり、参加申込みを2月28日(土)まで受け付けている。気軽に参加できる大会なので、奮って、大勢の参加を願いたい。

私からは以上である。

【保高班長】

私から2点、連絡させていただく。

当日配布資料として、皆様のテーブルに浦川原区地域協議会主催の委員研修会の資料を置かせていただいた。

もう一点。会議終了後、地域協議会だよりの編集委員会を行いたいので、副会長チームの皆さんには残っていただきたい。

【吉野会長】

選挙の入場券はいつ配達されるか。

【井部次長】

明日の期日前投票開始には間に合わないが、入場券がなくても投票はできる。

【吉野会長】

承知した。

以上で、第9回安塚区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-592-2003 (内線 23)

E-mail : yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。